

せんか資金はあります。
ノウハウを提供していた
だきたい」

せんか資金はあります。
ノウハウを提供していた
だきたい」

ニッポンの農大

第7部 90億人の世界で

安心」を輸出せよ

育種技術や生産者の努力でアーランドを維持してきた但馬牛（兵庫県養父市）

クになるのはいつも農産の意識が高まつた」と話す。だが、自由化は農業です。荷を背かないつもりでした。90年代に約70億円あった熊

電子版「連載」

中田は10年前に進出し、が81%を占める。若いアルゼンチンで125を呼び込み、農業を成り立たせるには世界を回る。やトウモロコシなど年3,000ヘクタールを生産する。多くは現地や欧洲向け。この松本園圃（熊本県益城町）の生産履歴（以下）を示した実績が世界への挑戦欲をかぎ立てる。レーザーリティーは

競争してこそ一皮むける

かげられた。その1ヶ月前にも、上海から来た経営者に「安心・安全な野菜を中国で作りません」と訴えられた。あれは高くて海外で受け入れられる」と決断。結果的に減った。就業人口もこの10年で100万人減少。今や65歳以下の市場規模は日本の30倍（中田）というアレア進出を考え始めた矢先に野菜市場を巡る。

どじの煙で野菜を作った。な食品規範のなかを消費者がパソコン、墓壇上の地図で確認できるほか、同社がどう細かい。歷歴を把握するのに用いるのが「グローバルGAP」。国際的大

格に対応する生
この基準を取得
野菜を輸出する
歐米ではこれが
手数販店と取引

役の松本式（44）
に香港に輸出して、
生産量の2割をア
の輸出に振り向け
を描く。

。すでに血統
が、アジアへ
の戦略
を、
幕れ
もの

統につなが
生産歴が
総(73回)
「自由化」
を作らな
れだが、よ

かるとされ
約40年の朝
真香美町)

の返る。か
トボンが「
ヒント」
農家は廢

ボストン
パークタウン
の11年だ
品質の雑
準以下で

の少しだけ。(夏) 年で聞かなければ出でる。

は48億ドルへ
42%増えた
00億ルピー

輸出額(09.09.30)は前年比で17.1%増の1兆4,454億円となりました。12年も伸びる見込みです。

取材班は飯田辰久、高柳泰之、櫻原弘志、吉田忠則、
清水潤正、橋上誠、日高広太郎、
郷、緒方竹虎、金子夏樹、小泉裕、
房良祐、坂口喜裕、小泉裕、
之、名古屋和希、渡辺直樹
平本信敬で構成しました。

クになるのはいつも農家の意識が高まつた」と話す。何でできないようにした。物。だが、自由化は農業です。を弱らせるのか。1991年には22・1万頭あつ。本県の夏目販額は99年1年4月に輸入が自由化だ。肉牛生産農家は10年にには10分の1に激減。された牛肉とオレンジは7・4万戸に減った。一方、単価が甘夏の2・5倍あります。

一方、1戸当たりの平均飼育するチボンの販売額90年に約7億円あつた熊

高級黒毛和牛の一、青頭数は12・7頭から38頭に。単純計算で頭は約200倍の4億円。自由化後に兵庫県の但馬牛。輸入牛・9頭に。規模の拡大で農家の3・4割が廃業し、生産効率が高まつた。といわれるが、チボンの和牛しかないことをみて、生産農家は生き残つた。

全国の产地が改良用に但馬牛を賣り付け、霜降りハイテク産業などで見

デコボンの教え

雙十版「選戰・ラム」
で関連記事を掲載。こ
そ見ものからかい。